

9日 土曜

へブル



6:1 ですから私たちは、キリストについての初歩の教えを後にして、成熟を目指して進むではありませんか。死んだ行いからの回心、神に対する信仰、

6:2 きよめの洗いについての教えと手を置く儀式、死者の復活と永遠のさばきなど、基礎的なことをもう一度やり直したりしないようにしましょう。

6:3 神が許されるなら、先に進みましょう。

6:4 一度光に照らされ、天からの賜物を味わい、聖霊にあずかる者となって、

6:5 神のすばらしいみことばと、来たるべき世の力を味わったうえで、

6:6 墮落してしまうなら、そういう人たちをもう一度悔い改めに立ち返らせることはできません。彼らは、自分で神の子をもう一度十字架にかけて、さらしものにする者たちだからです。

6:7 たびたび降り注ぐ雨を吸い込んで、耕す人たちに有用な作物を生じる土地は、神の祝福にあずかりますが、

6:8 茨やあざみを生えさせる土地は無用で、やがてのろわれ、最後は焼かれてしまうのです。

6:9 だが、愛する者たち。私たちはこのように言っています、あなたがたについては、もっと良いこと、救いにつながることを確信しています。

6:10 神は不公平な方ではありませんから、あなたがたの働きや愛を忘れてたりなさいません。あなたがたは、これまで聖徒たちに仕え、今も仕えることによって、神の御名のために愛を示しました。

6:11 私たちが切望するのは、あなたがた一人ひとりが同じ熱心さを示して、最後まで私たちの希望について十分な確信を持ち続け、

6:12 その結果、怠け者とならずに、信仰と忍耐によって約束のものを受け継ぐ人たちに倣う者となることです。

「基礎的なことをもう一度やり直したりしないように」とあります。信仰の基礎、聖書にある大切な教理などをしっかりと持っているでしょうか。もしも不安があるなら、恐れることも恥じることもありません。牧師に相談すべきです。指導者はそのような人のためにいるのであって、それを教える導くのは彼の仕事です。

「神のすばらしいみことばと、後にやがて来る世の力を味わったうえで、6:6 しかも墮落してしまうならば、そういう人々をもう一度悔い改めに立ち返らせることはできません。」とあります。この墮落とはキリストを否むことであって、完全に罪を犯さないようにあることを求めているではありません。

しかし、みことばとやがて来る世の力（神の国の力）を味わった人は、罪を犯してもそれに気づき、主の前に悔い改めることができるものです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

